

2008年9月16日

各位

AIU 保険会社

米国 AIG 本社に関する各種報道について

拝啓 平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

標記につきましては各種報道がございますが、現在の状況について以下のとおりご報告申し上げます。

なお、AIG 本社からの追加的な発表があり次第、随時詳細をお知らせいたします。

1. 米国 AIG 本社の状況について

米国 AIG 本社では、米国金融市場の信用収縮が深まる中、短期的な流動性圧力に直面しているものの、AIG は全世界に安定且つ健全な内容の事業部門を多数保有しており、流動性改善に向けて最善の努力を速やかに進めているところです。

なお、本日米国の格付機関 3 社が AIG の長期債務格付を下記のとおり引き下げることを発表いたしました。しかしながら、AIG の財務基盤そのものは依然として強固なものであることに変わりはありません。

格付会社	格付
Moody's Investors 社	Aa3 A2 へ 2 段階引き下げ
Standard & Poor's 社	AA マイナス A マイナスへ 3 段階引き下げ
Fitch Ratings 社	AA マイナス A へ 2 段階引き下げ

(2008年9月16日現在)

現時点でお客様にお伝えできる情報は限られておりますが、進捗があり次第、ご連絡申し上げます。

2. AIU 保険会社の業務運営状況について

AIU 保険会社の日本における業務は、AIG 本社とは別法人で運営しており、ソルベンシーマージン比率は、基準を上回った 864.0% (2008年3月31日現在) となっております。また、Standard & Poor's 社の財務格付けにおいても A<sup>+</sup> の格付けを得ております。

業務は通常どおり正常に運営され、保険金支払い等に対する影響はありません。

せんので、ご安心ください。

また、AIU 保険会社が属する AIG の米国外損害保険事業は、好調な業務運営を持続しており、強固な財務基盤を維持しています。また、現在の AIG 本社における事案は影響しないものと考えられています。

参考までに、以下に米国外損害保険事業の具体的な情報を提供します。

- ✓ 米国外損害保険事業の流動性は極めて強固なものであり、その財務基盤は維持されております。
- ✓ 同事業の資産の 50% 以上、\$ 260 億は固定利付債券と現金によって構成されております。
- ✓ 米国外損害保険事業における保険金支払い能力および引受能力は、何ら悪影響を受けておりません。
- ✓ 2005 年以降、同事業の純利益は 50% 以上増加しており、十分な収益性を維持しております。
- ✓ 米国外損害保険事業は、2008 年度においても高い収益性を維持しており、2008 年第二四半期では正味引受保険料 \$ 37 億、営業利益 \$ 8 億、そしてコンバインドレシオは 88.3% でした。また、2008 年度半期ベースでも、正味引受保険料 \$ 81 億、営業利益 \$ 15 億、そしてコンバインドレシオは 85.0% となっております。

AIG の米国外損害保険事業は、他社にない広域の海外ネットワーク網を有しており、世界各国において、損害保険商品を企業および個人向けに提供しております。

お客様には大変なご心配をお掛けし、誠に申し訳ございませんが、弊社の財務状況、ならびに保険金支払能力につきましては、問題の無い状況にあると考えております。改めて、お客様の保険契約には影響がございませんことを、ここにご報告申し上げます。

今後とも引き続き変わらぬご厚情を賜りたく、何卒よろしくご厚情を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具